

20, 6, 20

樞密院會議筆記

一 帝國議會ニ於テ修正ヲ加ヘタル
戰時緊急措置法案

昭和二十年六月二十日(水曜日)午前十一時二十

五分開議

聖上臨御

出席員

平沼議長

清水副議長

大臣

鈴木内閣總理大臣 四番

米内海軍大臣 五番

松阪司法大臣 六番

阿南陸軍大臣 七番

岡田厚生大臣 九番

廣瀬大藏大臣 十番

太田文部大臣 十一番

安倍内務大臣 十三番

小日山運輸大臣 十五番

顧問官

窪田顧問官 十八番

奈良顧問官 二十番

林 顧問官 廿五番

二上顧問官 廿七番

小幡顧問官 三十番

竹越顧問官 卅一番

池田顧問官 卅四番

泉二顧問官 卅五番

野村顧問官 卅七番

本庄顧問官 卅九番

櫻内顧問官 四十番

閣席員

親王

雍仁親王

一番

宣仁親王

二番

崇仁親王

三番

大臣

豊田軍需大臣

八番

石黒農商大臣

十二番

東郷

外務大臣
兼大務大臣

十四番

顧問官

石井顧問官

十七番

南 顧問官

十九番

松井顧問官

廿一番

菅原顧問官

廿二番

松浦顧問官

廿三番

潮 顧問官

廿四番

深井顧問官

廿六番

眞野顧問官

廿八番

大島顧問官

廿九番

三土顧問官

卅二番

伊澤顧問官

卅三番

平生顧問官

卅六番

百武顧問官

卅八番

委員

村瀨法制局長官

入江法制局參事官

報告員

清水審査委員長

書記官長

堀江書記官長

書記官

諸橋書記官

高辻書記官

議長

(平沼)

之ヨリ會議ヲ開ク

帝國議會ニ於テ修正ヲ加ヘタル戰時緊急

措置法案

ヲ議題ニ供ス本案ハ大體議ニ止メ朗讀ハ之

ヲ省略シテ直ニ審査委員長ノ報告ヲ求ム

報告員

(清水)

今回御諮詢ノ帝國議會ニ於テ修

正ヲ加ヘタル戰時緊急措置法案ニ付本官等

審査委員ヲ命ゼラレ本日委員會ヲ開キ當局

大臣及關係諸官ノ辯明ヲ聽キ以テ之が審査

ヲ遂ゲタリ尚本案ニ付テハ審査報告書ヲ發

スルノ違ナカリシニ由リ御了承ヲ請フ
本法律案ハ曩ニ一タビ本院ノ議決ヲ經テ
期ノ帝國議會ニ提出セラレタルニ其ノ議
ニ依リテ修正ヲ加ヘラレ茲ニ再ビ本院ノ
議ニ付セラレタルモノニシテ前ニ本院ノ
決ヲ經タル政府原案ニ對シ帝國議會ニ於
加ヘタル修正ノ要旨ヲ述ブレバ原案第四
第一項ノ規定ニ於テハ第一條ノ規定ニ基ク
措置ニシテ重要ナルモノニ付テハ政府ハ勅
令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ戰時緊急措置委員

會ニ報告スベキ旨ヲ定メタルガ修正案ニ於
テハ之ヲ戰時緊急措置委員會ニ諮問スベク
但ダ已ムコトヲ得ザル場合ニ於テハ事後ニ
之ヲ報告スベキモノト改メタリ而シテ政府
當局ハ右帝國議會ノ修正ハ政府が原案ニ於
テ所期セル所ヲ法文上明確ニ爲シタルニ過
ギザルヲ以テ其ノ趣旨ニ於テ別段異ナル所
ナキモノト認メ之ニ同意セル旨説明シタリ
按ズルニ本案ノ修正ハ曩ニ本院ノ詢議ヲ經
テ帝國議會ニ提出セラレタル政府原案ノ規

定中一條項ノ趣意ヲ明瞭ニ爲サンガ爲行
レタルモノト認メラルルニ由リ別ニ支障
廉ナキモノト認ム仍テ審査委員會ニ於テ
本案ハ此ノ儘之ヲ可決セラレ然ルベキ旨
會一致ヲ以テ議決シタリ
右審査ノ結果ヲ報告ス

議長 (平逸)

別ニ御發言ナキ故直ニ採決スベシ本案賛成
ノ各位ノ起立ヲ請フ

(全員起立)

議長 (平逸) 全會一致可決セラレタリ

本日ハ之ニテ閉會ス

聖上入御

(午前十一時三十分閉會)

議長男爵 平沼騏一郎

書記官長

書記官

諸橋 襄

